

1年1組 生活科学習活動案

場 所 1年1組教室
児 童 男子20名 女子17名 計37名
指導者 菊地由佳

1 単元名 「おおきくそだて」～またあおうね、あさがおさん～

2 単元の目標

- (1) 植物に関心を持ち、進んでそれらと関わりを持ち育てようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 世話をしたこと、草花のことや自分の思いなどについて表現することができる。(思考・表現)
- (3) 栽培活動を通して、草花も自分と同じように、日々成長していることや生命を持っていることに気付くことができる。(気付き)

3 単元について

(1) 活動材について

本単元は学習指導要領の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定したものである。

本単元では、普段児童が自然に接している身近な植物のあさがおを一人一鉢持ちながら育てる活動を中心に行っていく。自分の育てるあさがおの成長を楽しみにしながら、日々の関わりを深め、育てていく。自分の育てているあさがおを今日も元気かな、と親しみと期待の目で見つめ、心をよせながら世話をしていくようになる。手で触ったり、抱いたり、水や肥料をやったりというように、親しく接することができるようにして関わりを持たせていくことで、あさがおも生命を持っていることや、成長していることを気付くと共に、大切にすることができるようにすることをねらいとしてこの単元を設定した。

(2) 児童について

児童は、入学してから、学校探検を通して、校庭にたくさんの花が咲いているのを見たり、畑があることを知ったり、2年生からあさがおの種をもらったりする活動を通して、自分たちも栽培活動をしたいという意欲を持って本単元の学習に入った。

本単元では、一人一鉢のあさがおをもち、それを育てていく過程で生命を大切にすることができるようになってきている。児童は「葉っぱがすごく大きい。」「つるがぐんぐんのびるよ。」「今日、さんのあさがおが咲いたよ。」「いっぱい花が咲いてくれてありがとう。」「種はまた来年植えたいな。」などたくさんの気付きを持ちながら活動してきている。「まとめる」段階ではその自分の気持ちを表現し、「いかす」段階で、周りに伝えていくことにより、さらに、親しみを増し、関わりを深めていけるものと思われる。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、学校探検を生かして、校庭のあちこちに花が咲いていることや2年生から種をもらったことを想起させることから始めていく。その活動を通して、「自分たちも種を植えたい。」「学級園に何か植えたい。」という意識をもたせていく。実際に植える場面では十分な道具の用意をし、植え方のコツを提示することでスムーズに活動できるよう配慮していく。

「さぐる」段階は日常的なお世話が活動の中心であり、長期的な活動になる。芽が出たこと、双葉ができたこと、本葉ができたこと、つるののびていく様子、つぼみができたこと、花が咲いたこと、花がしおれたこと、実ができたこと、そして、種が採れたことをその時々意識させていきたい。その場面毎に、カードに記入したり、さわってみたり、身体表現をさせたり、話し合ったりしていく活動を繰り返す中で、自分のあさがおに親しみを持ち、成長や変化に関する気付きを広げていきたい。また、自分で、水やりをしたり、支柱を立てたり、また、種を集めたりす

る活動も、ただ単に教師からの声かけではなく、児童の声を取り上げて、それを全体に広めていくように配慮していく。間には夏休みも入り、家庭の協力も不可欠である。常に成長してきている様子を意識させながら、親しみを深めるための活動を大切にしていきたい。

さらに、花ができた時期には、たたき染めや色水作りなどの遊びの活動を取り入れ、成長の思い出の一つとして残しておきたい。また、つるの後片づけをするところでは、今まで成長してきたあさがおの様子を振り返る場面として、大切に子供の思いをくみ上げていきたい。

つるは、「秋を見つけたよ」や図工の単元と関連させて、飾りを作らせた。

「まとめる」段階では、あさがおの思い出絵本を作る活動を通して、あさがおの成長を振り返り、一つの種から、大きくなったあさがおが、また、たくさんの種を出して役目を終えていったことを振り返りたい。そして、子どもの思いを発表や資料作りを通して十分に引き出し、単元の活動のまとめとしたい。

「いかす」段階ではあさがおに手紙を書いたり、あさがおと遊ぶ中で作ったものを2年生に広げたりする活動をしていき、来年の活動への意欲づけにしたい。

「話すこと」については、話型を提示し、声の大きさを意識させることで、わかりやすい発表を心掛けさせていく。その中で自分たちが行ってきた栽培活動の変化や喜びを発表の中に盛り込ませていきたい。また、「聞くこと」については話す人の方を見て、聞く態度を意識させていく。その中で友達の発表を聞くことで違いに気がついたり、同じ思いを持っていたりしたことに気付かせていきたい。

段階	主な活動	時間	児童の活動を支援するための手だて	評価の観点と評価計画	活動形態	
つかむ	1 . 育てる草花を決める。	1	・校庭に咲いている花や2年生からもらった種を想起させながら、何を植えたいか考えさせ、栽培活動への意欲を高めさせる。 おおきくそだてよう	(関) 種や苗の成長の様子に関心を持ち、自分でも育ててみたいという関心を持つことができたか。発言・挙手	全体	
	2 . あさがおの種を植える。	1	・種植えに必要な道具を用意し、方法を提示して活動させる。	(気) 植物を育てることに興味を持ち、土づくりや種のまき方に気付くことができたか。活動	個人 グループ	
さぐる	4 . 草花の世話を する。芽が出たり 双葉、本葉が出て くる様子を観察 する。	1	・どの子も継続して活動できるように声かけをする。カード等に記入させることにより、子供たちの気付きを深めさせる。	(思) 発芽したことや世話をしている喜びを絵や文、身体で表現する。	個人	
	5 . つぼみや花が 出来る様子を観 察したり、身体 表現したりする。	1	・追肥や支柱立ては、適宜助言を行う。 ・つぼみが出来たことや花が咲いたことの期待感や喜びを大切に、関わりを深めさせる。	(関) 水やりや草取りの大切さを知り、継続的に世話をしようとしたか。 (気) 植物の成長の様子や、成長の度合いの違い、また、色々な形や色があることに気付いたか。	個人	
	6 . 花やつる、葉 っぱを使ってお しばなや色水作 りなどで遊ぶ。	2	・様々な道具を用意したり、方法を提示して、工夫させながら活動させる。	(気) 葉の裏表、茎やつるなど、植物の部位によって手触りが違うことや、植物によってにおいが違うことに気付いたか。	全体・個人	
	7 . 実の様子を観 察したり、身体 現したりする。	1	・実が大きくなっていく期待感や喜びを大切に、親しみを深めさせる。	(気) 一つの種から多くの種が採れることに気付いたか。	個人	
	8 . 種取りをして、 種を片づけた り、カードに記 入したりする。	1	・種をまとめて保管できるように袋を用意する。		個人	
	9 . つるの後かた づけをする。	2	・つるをグループで協力させながらほどくことを通して成長したあさがおを実感させ、自分の育ててきたあさがおへの親しみを深め、思いを持たせる。		グループ 個人	
	10 . つるを使って 飾りをつくる。	2	・みつけたよあきのおくりものの単元と関連させる。		全体・個人	
			図工			

まとめる	11 . あさがおの成長を振り返る。	1 本時	・ 書きためてきたカードなどを順番に整理させて、あさがおの成長を振り返りあさがお絵本を作る。	(思) あさがおの成長の様子や、自分の思いを絵や文などで表現することができたか。	全体・個人
いかす	12 . あさがおに「大きく育ててありがとう」のお手紙を書く。 13 . 2年生に招待されたおみやげにあさがおを育てたお礼と報告に行く。	1 国語	・ うまく書けない子には、表現の仕方を提示する。 ・ 成長の様子や自分の思いを2年生に伝えることでありがとうの気持ちを伝える。	(気) 大切に育ててきた自分のあさがおを最後まで、大切にしようと気付いたか。	個人 全体

5 本時の学習活動

(1) ねらい

- ・あさがおの成長を振り返ることを通して、自分の育ててきたあさがおへの親しみを深め大切にしようとする。
- ・自分の育てたあさがおの思いを発表したり、友達の発表を聞いたりし、思い出絵本を作ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	時間	教師の支援(＊)と評価()
つかむ	1 前時の活動を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">あさがおの思い出絵本を作ろう。</div>	5	＊ できあがったリースや、取れた種のことを想起し、たくさんの思い出があったことを想起させる。
さぐる	3 カードを見ながら、あさがおの思い出を発表し合う。 4 1番印象に残ったところを選んで絵や文を書いて表紙にする。	15 15	＊ 話すときには話形に気をつけて、自分の気持ちを入れながら発表させる。 ＊ 聞くときの態度に気をつけて、自分と似てるところを探しながら、発表を聞く。 ＊ 今まで書きためたカードの中から思い出を発表することで、掲示をしていき、あさがおの成長が一目でわかるような板書をする。 ＊ うれしかった、びっくりしたなどの心の動きを大切にしていく。 ＊ 種から種へつながるよう発表の内容を多彩にしていく。 あさがおの思い出の発表をしたり、友達の意見を聞いたりしていたか。 ＊ 絵、題名、書きたい文の順に書いていくことできれいな表紙になることを知らせ、書きやすくさせる。 ＊ 書くところが思いつかない児童には、1枚のカードを選ばせて、同じ場面を書かせる。思い出絵本の表紙を工夫して書こうとしているか。
まとめる	5 今日の学習を振り返る。	5	＊ 今日の学習をして思ったことを発表する。私もそうだった。ぼくも さんと同じだったと言ったつぶやきを大切にしていく。
いかす	6 次時の見通しを持つ。	5	＊ あさがおさんに大きく育ててありがとうの手紙を書いて、絵本の最後につけることを知らせる。